

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会報

平成 26 年 11 月発行



協議会長 水科 勝吉

この度、市の小学校単位の地域づくり方針に基づき、地域住民による自主的な地域づくりを行政と連携して進める自治組織「御牧ふれあいの郷づくり協議会」が発足の運びとなりました。

本会の地域づくりのスローガン【空と大地とふれあいの郷、北御牧】を目標に掲げ、多くの住民の皆様にご理解とご参加を賜り、次世代に継承され住んで良かったと思える地域づくりを進めさせていただきたい所存です。

多様化する地域の課題解決に向け、分野ごとに設置した五つの部会活動や活動の執行を協議する理事会及び代議員会(最高議決機関)などの活動を通じて目標を定め、地域の発展のために努力してまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願ひし、就任の挨拶とさせていただきます。



設立準備会長 真田 賢一郎

平成 25 年 3 月に地区選出委員 16 名からなる北御牧地区組織検討会議が発足し、ワークショップ・講演会等を盛り込みながら 12 回の討議を重ねて来ました。この検討会議の素案を引き継いで、市民と行政が協働ですすめる新しい組織の設立準備会(委員 40 名)が平成 26 年 5 月に発足。さらに話し合いを重ねて、「御牧ふれあいの郷づくり協議会」設立総会を迎えることができました。関係各位の皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。

人は“十人十色”と言われるように、いろいろな意見や希望を持っています。だから地域づくりは、一人ひとりの発想を大切にしたいものです。少数の意見にも耳を傾けて、いいアイデアが出てきたら皆で汗を流して実行してみましょう。皆でワイワイやれば楽しみも出てくるでしょう。そんな作業の中で、『共感できる根っこの考え方』が見つければすばらしいと思います。地域づくりは次の世代、またその次の世代へと引き継いでいく永遠のものです。北御牧の各地区にリーダーが居ますので、いろいろな提案をし、自分の生活の負担にならない範囲で参加していただきたいと思って居ります。



地域づくりのスローガン

空と大地とふれあいの郷・・・北御牧

—この地で本当の豊かさと幸せを見つけよう—

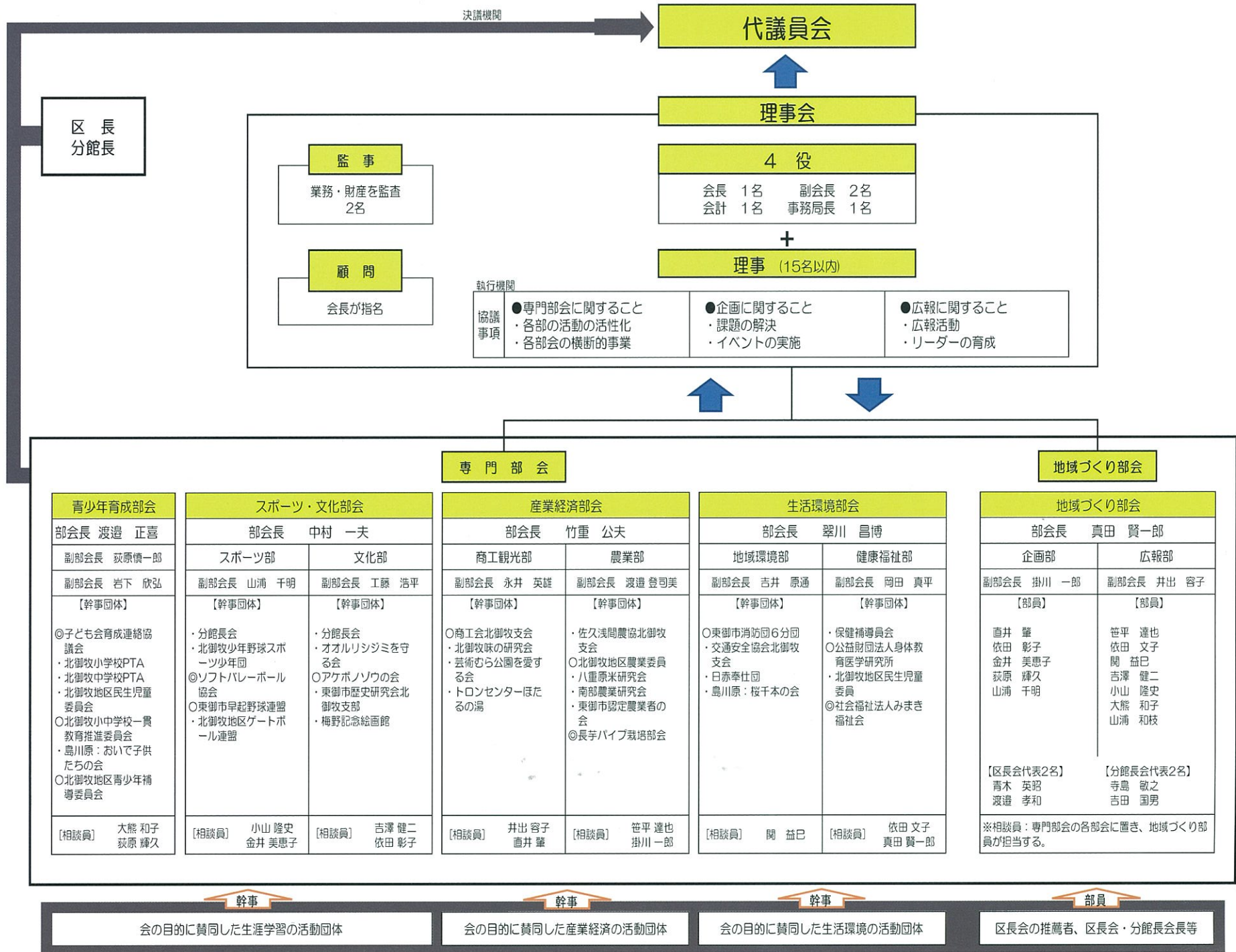


御牧ふれあいの郷づくり協議会役員名簿

(任期：平成 28 年 3 月 31 日まで)

役職	氏名	区名	役職	氏名	区名
会長	水科 勝吉	御牧原北部	理事	掛川 一郎	御牧原南部
副会長	荻原 輝久	大日向	〃	依田 文子	下八重原
〃	井出 容子	宮	〃	大熊 和子	布下
会計	中村 一夫	御牧原南部	〃	坂田 佳江	御牧原南部
事務局長	真田 賢一郎	常満	〃	大塚 裕子	切久保
理事	渡邊 正喜	島川原	〃	渡邊 孝和	布下
〃	岩下 欣弘	中八重原	〃	吉田 国男	田楽平
〃	工藤 浩平	常満	監事	柄澤 和幸	光ヶ丘
〃	竹重 公夫	羽毛山	〃	関 益巳	中八重原
〃	永井 英雄	本下之城	顧問	岩下 忠善	中八重原
〃	翠川 昌博	中八重原	〃	柳澤 幹夫	中八重原
〃	岡田 真平	御牧原北部	〃	窪田 俊介	芸術むら

「御牧ふれあいの郷づくり協議会」の組織図



なぜ、なに

What

地域づくりって何？

地域づくりとは、そこに暮らす人々が、自らの発意と行動によって地域の資源（自然、景観、地理、歴史、文化、産業、生活、人）を生かしながら地域社会の課題を解決し「より良い暮らし」を実現していく取り組みをいいます。

Why

なぜ 今？

地域づくりの担い手が地区外での生産活動に生活時間の多くを投入する中で、次第に区や地域との関係が希薄になり、地域づくりは、専業農家や自営業者、農協や役場の職員にお任せという状態になりました。

Where

本会は北御牧地区の住民と関係する各種団体等とが連携し、自主的、主体的に地域づくりを行うことで健康で明るく豊かな、活力ある住みよい地域社会をつくりあげていくことを目的とします。

Who

誰が？

地域住民みんなです。
少子高齢化が進んでいます。
コミュニティを再構築し
”支えあい、助け合う地域づくり”に取り組みます。

How

どんなふうに？

市民の知恵と意思が反映できる民主的で合理的な運営を基本に既存の組織の在り方を見直したうえで、生涯学習まちづくり推進協議会、地区活性化研究委員会等の組織を統合、再編します。



部 会

青少年育成部会

子供の健全育成を考える仲間
小中一貫教育の推進等



スポーツ文化部会

スポーツ部

スポーツの振興、健康のことを考える仲間

夏季、冬季スポーツ大会等

文化部

文化財、地域文化、芸術振興を考える仲間

生涯学習作品展、アケボノゾウ研究
狼煙交信等



地域づくり部会

みんなの事を総合的に考える仲間

企画部

地域要望の把握
地域課題の調整等

広報部

イベントの取材
地域の情報収集
会員の交流等



産業経済部会

商工観光部

商工観光、景観、農業振興を考える仲間

多機能直売施設がほしい
芸術むらを愛する会等

農業部

農地対策、農村活性化を考える仲間

ふれあい朝市、長芋パイプ、斧の会等



生活環境部会

地域環境部

安全安心を考える仲間

消防団員、交通安全、防犯対策
災害対策等

地域景観、環境保全等

健康福祉部

健康福祉を考える仲間

健康増進活動、福祉推進活動等

総会

「御牧ふれあいの郷づくり協議会」発足！

9月13日土曜日、住民自治組織「御牧ふれあいの郷づくり協議会」設立総会が北御牧公民館で行われました。はじめに真田賢一郎設立準備会長の挨拶があり、これまでの経過と協議会の主旨の説明がありました。続いて山浦千明議長が選出され、協議会の規約、運営規定、役員承認、平成26年度事業計画と予算についての議事が諮られ、満場一致で承認されました。

協議会の地域づくりのスローガンは「空と大地とふれあいの郷、北御牧。この地で本当の豊かさと幸せを見つけよう」です。このスローガンのもと、各部会での活動計画が承認されましたが、協議会長に選出された水科勝吉さんからは、手探りではあるけれど、この北御牧の地域づくりのため一生懸命努力したいとの決意が述べられました。

この後、記念講話として花岡東御市長より、「これからの地域づくりに期待すること」のテーマで、「持続可能な美しいふるさとづくり」を目指して市も第2次長期計画を策定した。キーワードは地場産業・循環型社会・小学校区単位のまちづくり・景観など、誇りを持ってオンリーワンを作り上げることが大切。大いにこの協議会に期待する旨のお話がありました。

設立総会に出席し、本当の豊かさとは・・・みんなで考え、行動することから始まるものだと感じました。この協議会に皆さんが参加してくれることを期待しています。

【広報部K. Y】

御牧ふれあいの郷づくり設立総会【平成26年9月13日（土）】



御牧ふれあいの郷づくり設立総会【平成 26 年 9 月 13 日（土）】



切り取り線

「御牧ふれあいの郷」“安心・健やかな暮らし”川柳 2014 募集

(生活環境部会 健康福祉部)

【募集内容】

日々の生活の中で、安心して暮らせる北御牧、健やかに暮らせる北御牧など、「この地域ならでは!」とご自身が感じている率直な思いや、地域の方たちと共感したいことなどを、五・七・五の句にしてご応募ください。

主なテーマは、防犯、防災、交通安全、介護、福祉、健康づくりなどの分野です。たくさんのご応募を心よりお待ちしております。また、川柳の応募が困難な場合でも、北御牧を想う気持ちや意見等も応募用紙に書いてお送りください。

【賞の決定】応募の中から、北御牧らしさがあふれる優秀な作品を協議会で選考し、表彰します。

【応募資格】北御牧地区在住、在勤者の他、北御牧とご縁のある方ならどなたでも。

【応募方法】

次の①から④の内容を川柳に添えて、事務局までお送りください(1人3点まで)。

① 氏名、②性別・年齢、③居住区もしくは出身区名、④電話番号、⑤北御牧への想い

【応募締切】平成 26 年 12 月末 ※応募用紙は裏面です。切り取ってお使いください。

【参考例】<交通安全> 布引道 急いで走るな 止められる

<健康> 浅間山 望んで保つ 視力かな

<介護> ケアポート 老後も安心 よりどころ



みなさんよろしくお願ひします！

～ 編集後記 ～

ふれあいの郷づくり号“御牧”の出航です。水科船長を中心にクルーも揃い、理想の未来に向けて出発します。

私たち広報班はいろいろな情報を発信すべくはりきっています。

まずは第1号。皆さんに親しまれる広報誌を目指して頑張ります。宜しくお願ひします。

【広報部 I . Y】

(発行) 御牧ふれあいの郷づくり協議会 (編集) 地域づくり部会広報部

----- 切り取り線 -----

【川柳 2014 応募用紙】

作品 1		
作品 2		
作品 3		
氏名 (ふりがな)	性別・年齢	
居住・出身区名	電話番号	
北御牧への想ひ		

【宛先】 (はがき、封書) 〒389-0402 東御市布下6-1 ケアポートみまき

(FAX) 0268-61-6003

(持参提出) 北御牧庁舎

※ご不明な点は北御牧庁舎 地域づくり支援員 青木まで

(TEL) 0268-67-3311